

(新) 国際的観点からの有害金属対策戦略策定基礎調査

99百万円( 0百万円)

環境保健部環境安全課

1. 事業の概要

水銀、カドミウム、鉛等の金属の大気中長距離移動、生物への蓄積、製品の貿易に伴う移動等による、北極圏や途上国での環境汚染が国際的に問題となっており、国連環境計画(UNEP)において対応が検討されている。また、電気電子機器等の製品に含有される有害金属について、来年から、欧州で規制が実施され、我が国における輸入品を含めた対策が課題となっている。

こうした国際的な動きに積極的に対応し、有害金属に係る環境汚染を未然に防止するため、以下の事業を行う。

我が国における高精度の環境監視

製品等に含有する有害金属含有量の測定及びマテリアルフローの把握並びに排出目録の作成

アジア太平洋地域における環境監視及び将来濃度予測

上記の調査を受けた有害金属対策国際戦略の策定

2. 事業計画

	18年度	19年度	20年度	21年度
我が国の環境監視 製品含有状況調査				→
				→
アジア太平洋地域調査	試行調査	本格調査		→
有害金属対策戦略策定	当面方針	骨子作成	素案作成	戦略策定
				→

3. 施策の効果

我が国として、UNEPにおける条約等の議論を含め、国際的な観点から有害金属問題に対応するための総合的な戦略を策定する。

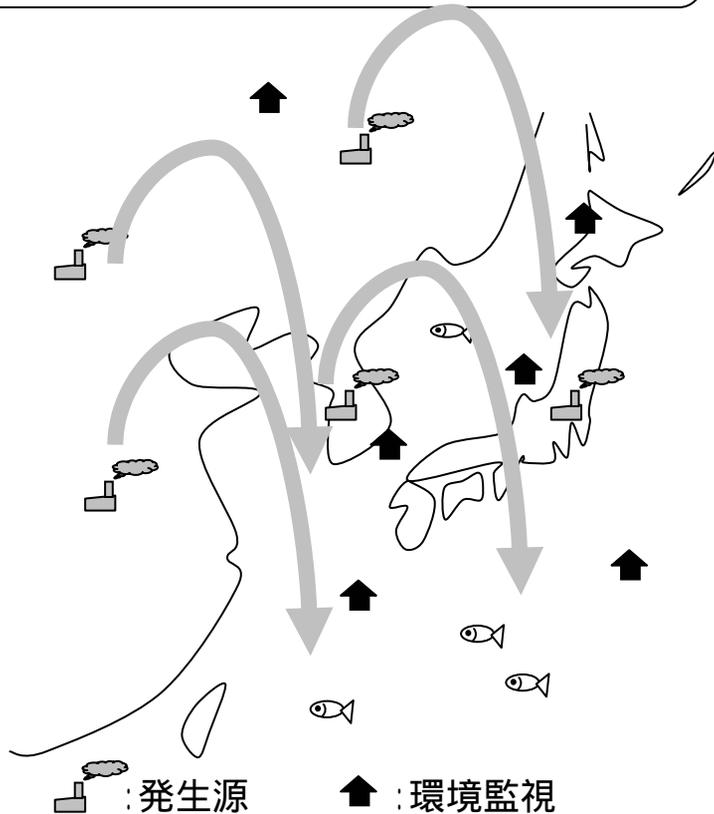
# 国際的観点からの有害金属対策戦略策定基礎調査

## 国連環境計画

平成15年 世界水銀アセスメント  
平成17年 カドミウム・鉛のアセスメント開始  
平成19年以降 国際的な対策検討

## 欧州連合RoHS指令

平成18年7月より、電気電子製品中の水銀、鉛、カドミウム等の使用禁止



## < 事業内容 >

我が国における有害金属の高精度環境監視

東アジア地域における環境監視・排出量調査、モデル予測

製品等に含有される有害物質等、生産・消費・廃棄のフローの把握

我が国及びアジア太平洋地域の有害金属排出・汚染状況の把握及び将来予測

## 有害金属対策国際戦略策定 - 平成18年度 当面の方針 平成21年度 戦略策定

世界的な有害金属汚染に対する我が国及びアジア太平洋地域の寄与を明らかにする

アジア太平洋地域を中心とした国際的な対策をとりまとめる

- 国際協調による排出抑制、貿易における配慮 等  
我が国で必要とされる対策をとりまとめる
- 製品中の有害金属の使用抑制、環境への排出量抑制 等